



2021年9月21日

西濃運輸株式会社  
日本フレートライナー株式会社  
日本貨物鉄道株式会社

## 西濃運輸株式会社ブロックトレイン 「カンガルーライナーTF60」の運転開始について

この度、西濃運輸株式会社（取締役社長：小寺 康久、以下「西濃運輸」という。）、日本フレートライナー株式会社（代表取締役社長：麦谷 泰秀、以下「日本FL」という。）、および日本貨物鉄道株式会社（代表取締役社長：真貝 康一、以下「JR貨物」という。）は、東京貨物ターミナル駅（品川区八潮）と東福山駅（福山市引野町）間で、ブロックトレイン「カンガルーライナーTF60」の運転を開始することとなりましたのでお知らせいたします。西濃運輸及び協力会社、日本FLのトラックで貨物駅に持ち込まれた積合せ貨物は、日本FLが受託人となって貨物列車に積載し、貨物駅間をJR貨物により直行輸送いたします。西濃運輸のブロックトレインの運転は、3往復目になります。

1. 運転開始日      2021年10月5日
2. 発着駅          東京貨物ターミナル駅～東福山駅（約779km）
3. 発着時刻        【下り】東京タ 6:58 発 ⇒ 東福山 21:22 着  
                          【上り】東福山 4:14 発 ⇒ 東京タ 20:19 着  
                          ※「タ」は「貨物ターミナル駅」を示します。
4. 列車編成        20両編成（うち西濃運輸15両、一般ご利用5両）
5. 輸送内容        積合せ貨物  
                          31ft コンテナ 30個／1列車あたり（往復60個）

### 6. 目的

西濃運輸はセイノーホールディングスの中期経営計画の中で「価値創造型SDGs」の展開として運び方改革を進めており、JR貨物グループは「JR貨物グループ長期ビジョン2030」で「物流生産性の向上」や「グリーン社会の実現」の価値を社会に提供することとしています。

今回の西濃運輸並びにJR貨物グループのブロックトレインの新設により、社会問題であるトラックドライバー不足の緩和とCO<sub>2</sub>排出量削減によるカーボンニュートラルの実現に貢献します。

この列車の運行によるCO<sub>2</sub>排出削減量は、年間8,083tとなります。